

令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 質問に対する回答

事業名：【日本の伝統文化である節句まつりの継承】

○事業に対する意見

第一次審査において、「事業に対する意見」として提出されたものを以下のとおりまとめています。団体からの回答は不要ですが、意見に対する所感・考え方等があれば、質問事項の回答及び第二次審査の資料作成に反映していただくようお願いいたします。

項番	意見
1	総事業費に対して助成金申請額の比率が高い。もし助成を受けないあるいは満額に達しない場合はどうするのか？ また、伝統を継承するのは良いが、新規性は何か？年1回の単発イベントに終わらないか？
2	継続的、発展的の広がりを期待する。
3	・端午の節句文化を継承するための複数年のイベント開催実績を評価します。 ・文化継承の効果の数値目標化を期待します。 ・岩槻の人形文化を次世代に伝えるひと工夫を求めたいです。市民（岩槻だけでなく他の区も含め）がお持ちの鯉のぼりをお借りする（賃借料）、ボランティア募集（謝金）により、経費を削減しながら地域を巻き込むことを期待します。
4	・事業費が高額のため継続するための仕組み作りに期待します。
5	・節句文化継承の目的は良い試みと感じる ・悪いことではないが、展示が多く、目的で「五節句の祝いや成り立ちを理解できていない人も多い現状」であるならば、節句文化に関する知識を周知してもらった内容のものを盛り込んだらより良いと感じられた
6	川越のまちづくりを思わせるような発展性が期待出来て素晴らしいと思います。
7	岩槻は、「人形のまち」「城下町」として、歴史ある地域である。また、近年ではアニメ「着せ恋」の影響もあってか、少しずつ知名度が上がっているのではないだろうか。 このような歴史ある岩槻において、日本の伝統文化である「端午の節句」を盛り上げるイベントを実施することに大いに賛成である。 しかし、事業計画書の「9. 他団体との連携状況」を確認すると、告知・広報での協力団体は、岩槻周辺の団体が圧倒的に多い。
8	謝金（設置、撤収）、委託料が、他の事業に比べ高い気がします。
9	五節句の文化継承は、人形のまちとしての岩槻地区にとって最適なテーマであり、安定継続を期待しています。まちかどひな巡りが続いています。他団体との横のつながりを含め、昨年にも課題とされていた助成後も事業継続ができる仕組みづくりの明確化を期待します。
10	人形の作り手がいての岩槻なのに作り手に光が当たっていない。イベントありきになっているのではないか。人形は鴻巣のイメージを超えられるものになるか。
11	観光国際課は、どうやって外国人へ訴求し、団体の外国人の方の参加の受入態勢はどうなっているのかが資料から見れない

令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 質問に対する回答

事業名：【日本の伝統文化である節句まつりの継承】

○団体への質問事項

ページ	質問内容	回答
2	【事業計画書 *事業の概要】 「マッチングファンドの申請回数（前回の結果）」では、参加者数2,100名とありますが、このうち市外からの参加者数は何人いらっしゃるのでしょうか。また、市外から参加された方は、どのような方法で「日本の伝統文化である節句祭りの継承と新しい挑戦」の情報を知ったのでしょうか。	1. 参加者数の地域割合について、全体の詳しいデータは取れていませんが、体験型イベントでの参加者記録から算出して岩槻区内が45%、岩槻以外のさいたま市が28%、さいたま市以外が27%の内容でした。 2. 情報取得についても詳しい調査はしていませんが、参加者の声を聴いて感じた内容から、知人からのSNS情報や地域情報紙、ポスター・チラシ等の順のようでした。
3	【事業計画書 2事業の具体的な内容】 「端午の節句に関するもの」は、そのほとんどが展示となっていますが、課題としている「節句の理解について」どのような取り組みがイベントで行われるのでしょうか。	節句の理解について、端午の節句は子どもの節句でもあることから、子供と家族と一緒に参加して体を使って体験する事で節句文化の一端を理解し記憶に残してもらう事も考えて、兜や鯉のぼりを作ったり、孫悟空の衣装を作ってまち巡りをするなどの体験型を組み込んだ企画としました。
3	【事業計画書 2事業の具体的な内容】 「端午の節句に関するもの」以外について、他のイベントとの違いをどのように出していくのでしょうか。	まち巡り参加型では、手作り仮装をしながら商店街の参加店を巡って楽しめるような形式を考えています。駅前会場では、イベント期間中キッズダンスや子供参加マルシェなど子どもが輝ける日替りの企画を用意しています。にぎわい交流館では鯉ぐりや武將に変身、五月人形関係の絵付け体験などを企画しました。
3	【事業計画書 2事業の具体的な内容】 まち巡り参加店は、どのくらいの店舗数（見込み）なのでしょうか？	昨年度は5店舗の参加で行いましたが、今回は10店舗程度まで増やしたいと考えています。
5	【事業計画書 6助成終了後の事業展開】 五節句イベントの底上げ、地域文化や地域資源との連携とあるが、具体案は？	具体策としては、地域の神社やお寺の催事も節句期間のイベントの一環として取り込んで広報する事や、岩槻区内全体の和菓子店や食事処も五節句ごとの季節感を地域一帯で出して行きたい
5	【事業計画書 6助成終了後の事業展開】 助成金で得ている100万円の資金をどのように集めていくのか、具体的な見通しを教えてください。	事業を開催することにより、積み上げた地域との信頼や実績を説得材料にして、協賛してくれる企業や商店を募ります。また、イベント内容も多く市民が費用を払っても参加したくなる様な企画を考え続け、今後も継続できる内容に磨いていきます。
11	【事業計画書 団体概要】 会員数の個人会員について、平均年齢を教えてください。	73.2歳です。
22	【令和5年度活動予算書】 経常費用の業務委託費について、具体的な内容を教えてください。	会場設営・運営に掛かる委託料で、レンタル業者、支援団体、イベント実施団体への支出、製作体験を委託している企業、団体へに支出になります。1月の節句：20万円、3月の節句：20万円、5月の節句：10万円、7月の節句：20万円、9月の節句：40万円（合計：110万円）

○所管課への質問事項

ページ	質問内容	回答
	なし	

令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 質問に対する回答

事業名：【Happy マルシェ】

○事業に対する意見

第一次審査において、「事業に対する意見」として提出されたものを以下のとおりまとめています。団体からの回答は不要ですが、意見に対する所感・考え方等があれば、質問事項の回答及び第二次審査の資料作成に反映していただくようお願いします。

項番	意見
1	昨年度も毎月1回開催し、参加者が多く、地域に根差したイベントとして継続、発展が望まれる
2	派生イベントの取り組みが興味深い。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・マルシェをきっかけとして、近隣マンションの自治会からも依頼されるなど、コミュニティ形成への市民の期待が高まっており、社会貢献性、発展性の点で評価します。 ・こどもの居場所づくりなど新しいことに取り組んでおり、先進性や実現可能性を評価します。 ・今後の拡大では事務局機能の強化が必須で、収益を獲得しながら進めてくださることを期待します。
4	・地域のネットワーク形成に寄与していて発展性もあると思います。継続するための仕組み作りに期待します。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・生活様式の多様化や価値観の変化により、自治会の加入が減少し、住民のコミュニティが希薄な現代において、このような試みは良いと感じられた ・また、マンションコミュニティの一助としてのマルシェやキッズあきんどは、現代の課題でもあり、今後の発展の可能性も感じられた
6	今後タワマン等を対象にしたコンサル事業の具体的な事業化が見込めそうなところも本当に素晴らしいと思います。
7	ソフト面（住民同士の繋がり）を意識し、多世代交流の場として、ネットワーク構築の場として多くの区民や関係者を巻き込みながら作り上げているマルシェということで、市民協働の在り方としては非常に優れていると感じる。また、開催場所を高架下にするというのも面白い発想である。貴団体のSNSも確認したが、Instagramもフォロワーが1,682名（2024.2.17現在）と非常に多く、発信力（広報力）にも長けている。
8	地域性に応じたニーズをとらえた活動として、今後も発展していくことを期待しています。
9	マルシェは先進的ではないが、子供の力を伸ばす事業も行っていることは発展性、社会貢献性を感じます。近年開発のめざましい武蔵浦和に絞っていることも評価します。
10	「共感された方が毎月のサポート役に出てくださいる」のが良いと思います。
11	内容としては毎回素晴らしいと思うが、昨年よりパワーアップ、改善した部分を知りたい。

令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 質問に対する回答
 事業名：【Happy マルシェ】

○団体への質問事項

ページ	質問内容	回答
3	【事業計画書 2 事業の具体的な内容】 派生イベントについて詳細を知りたい。	①自然ツアーガイドによる武蔵浦和の野草ツアー （身近な自然に触れる機会の増加と、現役を退いたベテランツアーガイドの新たな活躍の場） ②収穫体験 春・秋の年2回（次年度は種まきから実施できないか検討中） ③食育体験（料理講座等詳細は検討中） ④親子体験講座（マルシェ出店者から講師選出し親子で楽しめる内容。詳細は検討中）
5	【事業計画書 4 この課題に関連した、団体のこれまでに取組や特性】 令和6年度以降は「1つずつのイベントをより豊かにしていく目的で開催ペースを半分程度に落とすことを考えております。」との記載がありますが、貴団体の企画の周知が広まり注目を集めることになると参加者や出店希望者が増加することが見込まれます。つまり、出店者側の成果発表（販売）の機会が減少することも考えられますが、この点についてどうお考えですか？	はい、ご指摘の通りです。現状も、出店希望の方が多数で常に満員、キャンセル待ちの状況です。次年度は2会場制にして1回のイベントの出店者の数を増加させようと検討中です（スタッフ、場所の確保の調整中）。マンションコンサルの拡大も可能性があるため、定期マルシェ以外のイベントの増加も予想できるので、参加者の機会増加ができるよう努めます。一方で、次の質問事項にも上がっていますが、事務局のマンパワー不足で今年度のスピードでの継続は極めて困難です。継続する事が重要なので、持続可能を優先している部分もございます。
13	【事業計画書 団体概要】 会員数について団体の継続や発展に向けた組織づくりをどのように考えていますか？	今年度は、マルシェの発展に伴い、運営に協力してもらえるメンバーが増加しました。「まずはお手伝いから…」、「ちょっとしたサポートをしてみたい…」と活動に気軽に加わって下さっています。そういった会員予備群の方を増やし、少しずつ役割を増加して、会員増加を見込んでいます。今後、しっかりと自立して行くためにも、協力してくれるメンバーがボランティアのみにならない仕組みを今年度構築したいと考えています。また、連携できるパートナーを開拓していく事も必要だと考えております。

○所管課への質問事項

ページ	質問内容	回答
	なし	

令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 質問に対する回答

事業名：【妊娠期からの多胎ファミリー教室】

○事業に対する意見

第一次審査において、「事業に対する意見」として提出されたものを以下のとおりまとめています。団体からの回答は不要ですが、意見に対する所感・考え方等があれば、質問事項の回答及び第二次審査の資料作成に反映していただくようお願いします。

項番	意見
1	意義はあるが参加者が限定的とも思われる。実際に多胎がわかった人のみ参加できるとするのか。オンラインならより多様な人の参加もあってよいのでは。
2	安心な出産・子育てにつながる活動と感じた。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・多胎児という行政の手の回りにくい分野にフォーカスを充てた取組を、専門家の助言を受けながらの実績を評価します。 ・助成金がなくなった場合の継続性が需要で、講習会・相談会などで受益者負担を求めることも検討されたい。
4	・市と協働して行う意義は高いと思います。
5	・多胎ファミリー特有の悩みなど、共有してもらえぬ知り合いが増える等、妊婦やその家族だけで悩みを抱えず、同じ状況の家族に出会えることで、知識や情報も増え、安心感につながり、大変良い試みであると感じられた
6	多胎家族の経験者の特性を活かした取り組みで、この活動に助けられた方々がきっとゆくゆくは運営側に参加することもあるだろうことも期待できて、素晴らしいと思います。
7	多胎のパパママにとって、貴団体の事業は地域で支え合うという繋がりを作る為に重要であると感じている。また、行政が行う「母親（両親）学級」の盲点を補う役割を持つ非常に有意義なものであることは事業計画書からも伺える。しかし、事業費が膨大であるのに対して受益者数が少ないように思える。これは多胎の割合からしても仕方ないことではあるが、参加者から参加費用の徴収のみでは事業継続は困難であると考えている。また、事業計画書の「6. 助成終了後の事業展開」を見ると、自立した事業の継続は現実的に厳しいのではないだろうか。仮に助成がなくなったとしても運営を継続していく為の基盤を整えてもらいたい。
8	参加の人数に対しての助成金の高さが気になる。参加者に対してのスタッフの数は適正か？規模感のスリム化が望ましく感じる。自立時可能か？
9	専門性の高い支援を提供され、参加された方を支援側の人材として育成されて広げられている本活動が、協働の形として全国にも広がることを期待しています。
10	イベントだけでなく、団体のWebサイトを作り、正しい知識や情報をいつでも手にできる体制づくりをすることで、団体の認知度やイベント参加者の増加に繋がる可能性がある。体調が不安定だからこそ、安定している時に情報を得られるチャンスがあるようにご検討いただきたい。
11	継続すると初期参加者のお子さんは大きくなるが、小さい年齢を対象とするのか、幅広い年齢層を年齢層ごとに対象とするのかで、発展性が変わると思います。
12	心に寄り添う活動は必要。
13	まだまだ粗削りな部分はあるが、とても大切なテーマを扱っており、このような活動こそ、継続した支援と市との連携が必要だと考える。

令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 質問に対する回答

事業名：【妊娠期からの多胎ファミリー教室】

○団体への質問事項

ページ	質問内容	回答
2	【事業計画書 *事業の概要】 令和5年度の事業において、参加した多胎家族は組ではなく人数にすると何人ぐらいいらっしゃるのでしょうか。	令和5年度参加者数43名（23家庭） 【1回目】 参加者数 ママ10人、パパ6人、祖母1人、 家庭数 10家庭（会場参加7家庭、オンライン参加3家庭） 市内6家庭、市外4家庭、 キャンセル2家庭 【2回目】 参加者数 ママ13人、パパ11人、祖母2人、 家庭数 13家庭（会場参加7家庭、オンライン参加7家庭※1家庭はママがオンライン、パパと祖母が会場参加） 市内9家庭、市外4家庭、 キャンセル0家庭
2	【事業計画書 *事業の概要】 前年度10組の参加とのことですが、対面での1開催の参加者数の見込みは？	令和6年度の対面での1開催あたりの参加者数の見込みは、今年度の周知や開催の効果を考慮し、15組約35名と想定しています。
4	【事業計画書 3事業により期待できる成果・効果】 当事業について、行政や病院が行っている支援との違いを知りたい。	行政では、各区で年に2回、妊娠中から未就園児の家庭を対象とした交流会（多胎の集い）を行っています。 病院では、多胎を対象とした事業は埼玉県内ではあまり聞いたことがありません。 当団体が実施する事業では、妊娠中と産後すぐの方を対象に多胎の基礎知識や情報を提供します。
4	【事業計画書 3事業により期待できる成果・効果】 事業後の参加者同士のつながりは、どのくらい生まれますか。また、オンライン参加の場合は、つながりをどのようにサポートしていますか。	令和5年度一回目の講座では、事業後オンラインの方も含め約8割の方がグループLINEに参加し、そのうち4組は1月のサークルに参加され、同じファミリー教室参加者同士、楽しく情報交換をしていました。 当団体では、講座の後に参加者全員へグループLINEをご案内し、参加者同士が交流できる場を設け、必要に応じて運営メンバーから支援情報提供などのサポートをしています。
7	【事業計画書 5市との協働に期待すること】 市との協働事業であるという広報や周知などは、どのようにされますか？	協働事業であるという広報や周知は、以下の方法で行う予定です。 ①市の広報やHPに協働事業であることを明記する。 ②チラシ、参考資料やSNSでの広報時に協働であることを明記する。 ③教室の冒頭挨拶でも市との協働事業であることを説明する。
8	【事業計画書 6助成終了後の事業展開】 「②関心を持つ市民や企業からの募金を募ること。」とありますが、具体的にはどのような方法でどれくらいの金額を集めるという考えがあればお聞かせ下さい。また、現時点で協賛や募金は募っているのでしょうか。	現時点で募金の募集は、ピーナツクラブのチラシ記載と、イベント開催時に募金箱を用意し協力依頼をしています。 目標とする金額は寄付収入が少ないため、現段階では想定しておりませんが、次年度は寄付サイトの活用を視野に入れております。その際は、例えば、「3000円の寄付があれば1人の多胎ママがファミリー教室に参加できます。」というようにより具体的に提示したいと考えております。
11	【事業収支計算書 支出】 参加人数に対して、スタッフが20名で謝礼、報酬共に規模感はあるか？	仰る通り、参加人数に対し若干スタッフが多いと自負しております。しかしながら、以下の理由を考慮しますと必要な人数確保と感じております。 ①多胎家庭への対応 グループワークでは、初産婦、経産婦、パパ、の3つのグループに別れ、更にオンラインでも複数のグループに別れるとともにや、祖父母のグループを作るなど参加者に応じ、合計6~7つのグループになる場合があります。 多胎妊娠は多くのリスクがあり、人によってケースが異なります。そのため、違う経験を持つメンバーが一人一人の悩みに寄添えるよう十分なスタッフ数を計画しました。 ②ハイブリッド対応 会場だけでなく、オンラインでも満足いただけるよう、オンラインの方にもファシリテーターと多胎家庭の質問に対応できるメンバーを設定しております。 ③双子の託児対応 スタッフは全員多胎家庭のため、子供の託児人数が多く、託児スタッフが5名以上必要となる場合があります。 ④妊婦の体調不良に備えた対応 妊娠30週以降の方はオンラインを勧めていますが、安定期がないと言われる多胎妊娠では常に体調不良となるリスクがあります。そのため参加者の体調に気配りし、体調不良者が出た際は別室に移動して個別対応できるようにしています。 ⑤スタッフの欠席対応 双子の一人が体調不良になるともう一人も時間差で感染するケースが多く、家族全員治療するまで長期間時間を要します。スタッフの欠席は常に考慮する必要があります。前回2月の開催では直前でスタッフが3名不参加となり、急遽他のメンバーが対応しましたが、今後交代となるメンバー育成の必要性を感じました。 ⑥次年度以降の準備 今後自前で開催する場合、予算不足のため最低人数での調整が必要となります。そのため、次年度は、十分な人数で計画し、経験の積み重ねや意識向上、次年度以降の交代要員の準備を行い、事業の継続に繋げていきたいと考えております。 なお、さいたま市では、出産前の方を対象とする母親学級と、産後2~3カ月の方を対象とした育児学級がありますが、多胎家庭は産後2~3カ月は外出困難な状況なため、当事業では、産前~育児の内容を2時間で効率よく進行するためにも人員の確保は必要と考えております。
11	【事業収支計算書 支出】 「支出：③消耗品費」には、参加者用教材冊子が一冊あたり1,000円とありますが、どのような冊子なのでしょうか。	教材冊子は、以下の冊子を予定しております。 一般社団法人日本多胎支援協会発行 「ふたご・みつごの子育てガイドブック〜ふたご・みつごを安心して産み育てるために〜」 （多胎支援に関する専門家、大学教授が制作） 妊娠出産の基礎知識、妊娠中の生活や情報など多胎に特化した内容が含まれており、講師の日本赤十字看護大学教授の発表内容と関連していることから、先生よりお薦め頂きました。

令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 質問に対する回答

事業名：【妊娠期からの多胎ファミリー教室】

11	<p>【事業収支計算書 支出】 チラシ郵送はどんな所に？オンラインを3回とも開催との事なので、ネット中心の告知の方が有効ではないか？</p>	<p>チラシの郵送先は、主に以下となります。 また、今年度は3回分の日程を1枚のチラシにまとめ、1回の送付と考えております。 ①10区の保健センター ②さいたま市内の全産婦人科 ③さいたま市外近郊の周産期センターのある総合病院 ④その他、関係各所（議員、大学教授、市の広報プレスリリース用、依頼のあった市外行政担当者、子育て支援関係、ホームスタート等）</p> <p>ご指摘いただいた通り、ネットでの告知は情報を探している方に対しては有効ですが、令和5年度参加者の半数以上は、区の保健センター、医療機関から情報を得た方が多かったので、チラシ送付の重要性も感じております。</p>
----	--	---

その他	<p>沢山のご意見、ありがとうございました。 今回、受益者数に対し事業費が大きいといったご指摘を多く頂きましたので補足させていただきます。 主な要因は、謝金、旅費、印刷費の増加となります。 理由として、スタッフ人数が多い点に対しては、上記のとおりとなりますが、その他、 ①回数増加による謝金の増加 令和5年度は2回の開催でしたが、令和6年度は1回追加し、3回開催するため。 ②対面打合せの増加による旅費の増加 令和5年度はオンラインをメインとしたミーティングを多く想定しましたが、実際は対面の方が効率良く、土気も上がるため、対面打合せを増加しました。 ③参考資料の増版による印刷費の増加 令和5年度に当団体が作成した参考資料は、さいたま市外の複数の自治体からも多胎家庭へ配布用と多胎支援の参考用にしたいと依頼があったことや、管理入院中に資料を読んだ多胎の親が、勇気もらったなどのコメントが寄せられました。 参考資料の内容は、先輩多胎ババママからのメッセージ集、便利な多胎育児グッズ、いざという時の支援情報等、教室で伝えきれない多胎妊娠期の情報がまとまっており、過去の参加者からは冊子にも好評をいただいています。また、多胎に関する育児本はほとんど刊行されていないため、本冊子でより理解を深めてもらうことに寄与しています。</p> <p>以上の理由から事業費が増加致しました。次年度の予算増加はその後の継続的な事業に繋げ、広げていくために貢献いたします。よろしく願いいたします。</p>
-----	---

○所管課への質問事項

ページ	質問内容	回答
	なし	

令和6年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金一般助成事業 質問に対する回答

事業名：【幻の鉄道「武州鉄道」開業100年記念事業】

○事業に対する意見

第一次審査において、「事業に対する意見」として提出されたものを以下のとおりまとめています。団体からの回答は不要ですが、意見に対する所感・考え方等があれば、質問事項の回答及び第二次審査の資料作成に反映していただくようお願いします。

項番	意見
1	「武州鉄道」は知名度が低く、イベントによる波及効果や継続性が不明瞭。
2	地域経済活性化につながる活動を期待したい。
3	・朝顔市などの実績があるため、実現性はあると思われる。 ・ウォークラリーは100年を記念しているが、継続性が必要なため、テーマ設定や、受益者負担も検討されたい。
4	・朝顔市の実施経験を事業開催に活かせるように期待します。
5	・「幻の鉄道」に目を付けた着眼点は面白い試みであると感じられた ・記念事業をきっかけとした可能性も感じられたので、今後の展開の何か具体的な検討事項も盛り込まれているとより良いと感じられた
6	すでにガイド会さま等との連携や、鉄道ならではの市外県外との観光地との連携の発展性があることは素晴らしいと思います。
7	貴団体が事業計画書「1. 現状における課題と事業の目的」に記載した「のびのびシティさいたま市（広報番組）：鉄道ロマン～幻の武州鉄道を追う」を視聴し、その歴史について深く学ぶことが出来た。生まれも育ちもさいたま市だが、武州鉄道を知ったのは初めてであり、歴史的価値のあるものであると実感した。しかし、ウォークラリーが1日限りのものであることや市民への周知等を勘案すると多くの参加者を呼び込むことは困難であると感じる。 着眼点は面白く鉄道に興味があれば少しばかりある身としても賛成と言いたいところだが、突発的に企画されたものという印象を受けてしまった。
8	岩槻の町を舞台にした街巡りの取組は他にもありますが、各地の鉄道ファンをどのように取り込めるか、初回となる今回を基に、その可能性に期待します。
9	組織にかかる会議費の割合が多いように感じます。鉄道ファンをひきつけるとは思いますが、幻の鉄道などで継続化できるか不安あり。経費はもう少しかかるように感じます。
10	新規性、必要性が資料からは伝わってこず、岩槻区観光経済室も意見を一切書いていなく、消極的に見え、実現はできるだろうが意味があるのか疑問

○団体への質問事項

ページ	質問内容	回答
3	【事業計画書 1 現状における課題と事業の目的】 潜在的にある多くの観光資源とは？	武州鉄道の他、慈恩寺（今年開基1200年、玄奘三蔵の頭骨が日本に来て80年となります）、岩付太田氏、城跡、大構え、アニメの聖地など。
4	【事業計画書 3 事業により期待できる成果・効果】 武州鉄道の線路・駅の跡地には、碑や看板などはあるのでしょうか。	岩槻区の浄安寺に通じる小道に武州鉄道の小道という案内板があります。こちらの案内板は岩槻観光委員会の取り組みで作成致しました。
4	【事業計画書 3 事業により期待できる成果・効果】 イベントだけのにぎわいだけでなく、観光資源として、日常的な来訪者につながるような団体のノウハウや考え方があれば教えてください。	廃線巡礼印（全国の廃線を巡る人たちが集める御朱印のようなもの）や、武州鉄道グッズを来訪される方々へのお土産として展開致します。
5	【事業計画書 6 助成終了後の事業展開】 「実施に当たっては、参加者から参加費を集めるほか、協賛企業や団体などから協賛金を得るなど、資金の調達にも努めたいと思います。」との記載がありますが、“参加者”というのはウォークラリーなどに参加する方のことでしょうか。	こちらの参加費とはウォークラリーの参加者からの参加費を想定しています。
5	【事業計画書 6 助成終了後の事業展開】 参加費の具体的なイメージを教えてください。	参加費は区内5キロコース、10キロコース、20キロコースなどコース分けをし、参加費を3段階に設定することを想定しています。

○所管課への質問事項

ページ	質問内容	回答
	なし	